

令和3年度 第2回 学校関係者評価委員会 議事録	
開催日時	令和3年11月1日（月）17時00分～19時00分
開催場所	東京工科自動車大学校世田谷校302教室
参加委員 (★委員長)	★佐藤 久郎・大越 秀一・佐藤 学・三羽 和彦 欠席者, 井組 浩紀（委任状）・新委員 長岡 正人（委任状）・小野 宗憲
参加事務局 会議録	佐藤 康夫・武井 和則・麻野 利治
	【次 第】 日 時 令和3年11月1日（月）17:00～19:00 会 場 東京工科自動車大学校世田谷校 302 教室 - 開会・校長挨拶 東京工科自動車大学校世田谷校 校長 佐藤 康夫 - 委員会成立の確認・委員交代について（事務局） - 議長・書記の選出（事務局案） - 議事 - 議案1 前回議事録確認についての質問等 - 議案2 公開情報の更新について - 議案3 令和3年度取り組みに関する進捗状況 - 就職 - 資格取得 - 在籍状況・募集状況 - その他 - 意見交換 - 事務連絡（事務局） - 閉会 <配布資料> ・議事次第 【資料A】 ・令和3年度 第2回学校関係者評価委員説明資料 【資料B】

	1. 開会・校長挨拶（世田谷校：校長） 2. 委員会成立の確認・委員交代について（事務局） 会則第 5 条の基づき、出席者が委員総数の過半の出席を満たしているため成立していることを確認した。 西川委員が異動のため、新任に株式会社ヤナセ長岡委員が就任した旨を報告した。 3. 議長選出 事務局より委員の大成技研佐藤氏を書記は事務局が代行することで、全会一致で承認され、以後進行は議長による。 4. 議事（議長） 議案 1 前回議事録の確認についての質問等（事務局・副校長） 事務局より既に委員に送付してある議事録についての確認が行われた。 委員からの質問事項は無く、議案 1 について審議がなされ承認された。 議案 2 公開情報更新について（事務局） 職業実践専門課程の公開情報更新を、令和 3 年 7 月末日に行った事が事務局より報告された。 議案 2 についても承認された。 議案 3 令和 3 年度取り組みに関する進捗状況（事務局・校長） I.就職状況 就職内定目標は、優良企業への就職を目指し 8 月末 100%を目標にしているが、昨年度はコロナの影響で目標達成には至らなかった。 今年度は企業側も対面での面接が出来ない場合は、オンラインでの面接等対策を行ってくれ、8 月末 100%内定の目標を達成する事が出来た。 1 級自動車エンジニア科のメーカー系の就職については、75%の目標値となっています。一時は 100%達成もあり 80%の目標を掲げていたが、昨年度の結果は 50%になり、目標数値を 75%に修正している。 今年度は 71.4%で目標の 75%には若干届いていない。 II.資格取得（1 級取得に向けての取り組みについて） 資格取得は、特に 1 級の取得率について、1 級の模擬試験そして分析を行い、対策を実施している。年明け 2 月に行われる全国統一模擬試験を目標に対策を実施している状況。
--	--

Ⅲ. 在籍状況・募集状況

・在籍

留学生問題や病気等の問題があるが、昨年度は退学率 6.5%と目標の 5%以内に収まらなかった。

今年度は途中経過ではあるが、例年より良い数字で推移しており、目標値の 5%を目指している。

・募集

ひとつは、今年度は特にコロナの影響で、高校の進路指導が進んでいない。進路決定が遅くなっている。また、ガイダンスも中止となり専門学校の案内が出来ていない。

もうひとつは、留学生が入国出来ず打撃を受けている。

現在留学生は、一部を除き出国・入国が出来ない状況で日本語学校の運営も出来ていない。

留学生の入国については、例年の 7%留学出来ていない。

影響は、学科毎でも違いが出ているが特に自動車整備科が留学生の影響で半減している。

昨年度募集を停止していた夜間課程は、4 月より 2 年課程としてスタートするが、例年通り年明けより出願が多い予測に反して、既に 8 名の出願がある。非常にいい傾向となっている。

世田谷校の日本人出願者を見ていくと、増えている傾向にある。

Ⅳ. その他

・高等教育無償化

職業実践専門課程の称号を受けた学校のみ申請が出来る。

支援対象者も履修状況が良くないと取り消されるため、成績管理作業が重要となる。

現在の対象者は 15 名

国の支援が申請できる学校として、継続していきたい。

・国土交通省定期監査

事業計画での取り組みではないが、その理由として監査の案内については監査の数か月前に来るため、年度初めの計画に乗せることが出来ないということである。

監査は、学校が適切な運営を行っているかを、カリキュラム、時間割、卒業生、訓練時間数、実習教材等について詳細に調べるもので、指摘事項は数個出るのだが、今回の監査について指摘事項は無く監査を終えた。

・教育日程

これからの教育日程について、コロナ感染者の減少によりほぼ予定通り実施することを報告した。

議案 3 について承認された。

5. 意見交換

意見交換の前に、学校関係者評価委員会の進め方についての説明があった。

- ・1級自動車エンジニア科のメーカー就職 71.4%以外の学生の就職先はどのような企業か（委員）

- ・大型車、小型車のディーラーに就職が内定している。（事務局）

- ・整備士の需要が高いことはよく理解しているが、整備士を輩出するための募集の取り組み対策はどのような事を行っているか。（委員）

- ・留学生についての対策は、東京中心に留学生が激減していることから、地方の日本語学校への募集、全国レベルで連絡が取れるように活動を行っている。

日本人についてはほぼ昨年並みだが、高校生だけではなく大学生もターゲットとしている。大学生の就職状況が悪化しており、自動車は好きだが高校で大学を勧められ、卒業後就職が出来ない学生がいる。その様な対象者について効果が期待できる進学案内をネット等活用し行っている。（事務局）

6. 事務連絡

次回、令和4年度 第1回学校関係者評価委員会は、現在次年度年間予定を作成中のため、決まり次第連絡を行う。

7. 閉会

令和3年度第2回学校関係者評価委員会が閉会された。

以上



委員会風景